

## 未来の都市づくりに不可欠なイノベーション創出を支援 「ヒルズ・イグニッション・プログラム（HIP）」スタート

スクールやトークセッション、ウェブメディアで、起業やイノベーションを促進

森ビル株式会社は、イノベーションの核となる次世代プレイヤーの発掘や育成、交流の促進を目的に、「ヒルズ・イグニッション・プログラム（HIP）」をスタートします。HIPは、起業家や企業内の新規事業立案者など、あらゆるイノベーションを起こそうとする人々に、様々な学びや交流の機会を提供する、スクール、トークセッション、ウェブマガジンからなるプログラムです。

### ■本気のイノベーターを育成するスクールプログラム「HIP school」

「次世代イノベーターの人材育成」を目指し、新しい事業やビジネスを興すために不可欠なマインドやビジネススキルを学ぶ講義と、具体的なビジネスモデルを議論するワークショップで構成される、6日間の講座です。

講師：山脇秀樹（ドラッカースクール前学長）、山川恭弘（バブソンカレッジ准教授）、他  
日程：7/25（土）、9/12（土）、10/17（土）、11/21（土）、12/12（土）、12/13（日）  
会場：六本木アカデミーヒルズ、他 料金：7万円（講義4回＋ワークショップ1回） 定員：40名  
※詳細は <http://hiptokyo.jp/> をご覧ください。

### ■各業界のゲームチェンジャーが登壇するトークセッション「HIP conference」

今までにない考え方で、世の中の流れを転換してきたゲームチェンジャーを招き、彼らがいかに既存のルールを変えたのか、業界の最新動向をシェアしながら、新たなビジネスの可能性を探る、7回シリーズのトークセッションです。

登壇者：小泉進次郎（衆議院議員）、中島宏（株式会社ディー・エヌ・エー 執行役員 新規事業推進室長）、他  
日程：第1回 7/27（月） ※第2回以降の日程は未定 6月17日（水）より申込開始  
会場：虎ノ門ヒルズフォーラム、他 料金：1万円（セミナー＋交流会） 定員：350名  
※詳細、申込については <http://hiptokyo.jp/> をご覧ください。

### ■イノベーターを着火させるウェブマガジン「HIP」(URL：<http://hiptokyo.jp/>)

「これからのイノベーターの着火点となるコンテンツの発信」を目指し、ビジネスの現場でこれまでの「あたりまえ」を疑い、新しい道を拓いた人々のインタビュー記事などを掲載するウェブマガジンです。企画制作と運営は、株式会社 CINRA と共同で行います。

森ビルは、未来の都市づくりに不可欠なイノベーションを促進するため、都市の未来を議論する国際会議「イノベティブ・シティ・フォーラム」の開催や、マサチューセッツ工科大学（MIT）メディアラボとの「未来の都市のあり方」に関する共同研究などに取り組んでいます。今後も、ヒルズを舞台に、未来に向けたイノベティブな都市づくりを推進してまいります。

#### 【本件に関するお問合せ先】

森ビル株式会社

アカデミーヒルズ事業部 熊田 TEL:03-6406-6240 FAX:03-6406-9350 E-mail:biz@academyhills.com

広報室 渡邊 TEL:03-6406-6606 FAX:03-6406-9306 E-mail:koho@mori.co.jp

※この取組みは、東京都が、高い支援能力・ノウハウを有するインキュベータの連携体（インキュベーション HUB）を構築し、創業予定者の発掘・育成から成長促進までの支援を一体的に行う取組みを支援する「インキュベーション HUB 推進プロジェクト」の採択事業の一環として、新日本有限責任監査法人、EY 新日本クリエーション株式会社と連携し実施します。

## 「HIP」スクール及びトークセッション概要

### ■HIP school

デザイン思考と事業機会創出

概要	講師	日程	会場
新しい視野と視点に基づき「時代に即した新しい事業機会を見出すにはどうしたら良いか」を中心議題に、特に“人”の視点からの発想と創造力を重要視する「デザイン思考」の基礎概念と手法を紹介し、実際例への応用を学習します。さらに、デザイン思考は企業が直面する問題を解決できるのか、という課題を企業戦略策定とビジネスモデル構築の観点から考察します。最後に、デザイン思考を実際に導入する際に直面する組織上の制約を討議します。	山脇秀樹(ドラッカースクール前学長) 慶応義塾大学経済学部卒。同大学大学院経済学修士課程修了。ハーバード大学経済学博士号取得(PhD)。クレアモント大学群ビーター・ドラッカー経営大学院教授・伊藤チェア基金教授。2006年度より同校副学長、2009-12年度に学長を務める。欧米のビジネススクールにおける初の日本人学長。	7/25(土) 10時～18時30分	六本木 アカデミーヒルズ

競争戦略とビジネスモデル

概要	講師	日程	会場
全く新しい事業・ビジネスを起こす場合でも、既存事業との競争があり、起こした事業が成功すれば、追従する企業が現れ、競争が生じます。その競争に勝つためには、構築したビジネスモデルが適切な競争戦略を具現化したものでなければなりません。この講座では、いくつかの企業のビジネスモデルを取り上げ、その構造を競争戦略の観点から考察します。具体的には、ビジネスモデルを創造する際に重要な3つの問い、① 誰に対して、何を、提供することによって、価値を創造するか? ② どのような活動を組み合わせることによって、その価値を創造するか? ③ その活動のどれを自分が行い、どれを他者に任せるか? 任せた他者とどのような関係を作るか?、に各企業がどのように答え、競争に勝って自分が獲得する価値を確保できるようなビジネスモデルを構築しているかを検討します。	浅羽茂(早稲田大学ビジネススクール教授) 東京大学経済学部卒業。東京大学より博士(経済学)取得。カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)よりPh. D(management)取得。学習院大学経済学部講師、助教授、教授を経て、2013年より現職。専門は企業戦略、競争戦略。	9/12(土) 10時～17時	HAB-YU アークヒルズ サウスタワー

アントレプレナー・ファイナンス

概要	講師	日程	会場
まず計画している事業が本当に利益を生み出すのか、そのためにはどこにリスクがあるのかを分析するための考え方を学習します。リスクの高い事業を実現するためには、そのリスクに耐えることのできるリスクキャピタルの調達が必要不可欠です。ベンチャー・キャピタル(VC)から出資を受けることは銀行から融資を受けることと何が違うのか、VCIはどのような点に注目して投資決定を行うのかなど、リスクキャピタルの調達に関する基礎知識を習得します。さらに、ベンチャー企業の場合、企業価値評価(バリュエーション)や段階的投資がアントレプレナーやVCIにとってなぜ重要な意味を持つのかを学習します。	忽那憲治(神戸大学大学院経営学研究科教授) 大阪市立大学商学部卒業。大阪市立大学大学院経営学研究科後期博士課程修了。博士(商学)。大阪市立大学経済研究所専任講師、助教授、神戸大学大学院経営学研究科助教授を経て、2005年より現職。専門は、アントレプレナーファイナンス、アントレプレナーシップ	10/17(土) 10時～17時	HAB-YU アークヒルズ サウスタワー

アントレプレナーシップ基礎講座 ～1日体験:バブソナレッジの起業家教育!～

概要	講師	日程	会場
アントレプレナーシップとは何か? その神髄とは? 起業家先進国である米国ではどのような教育をしているのか? そもそも学習し得るものなのか? この講義は、アントレプレナーシップランキングで過去20年以上にわたって全米1位を誇るバブソナレッジでの起業家教育について学びます。起業機会とはどのように創出するのか? リスクの概念とは? 起業家として成功するための秘訣や、失敗に向けた心構えとは何か? このような疑問に答えるために、起業に関する基礎概念を養うことを目的とします。	山川恭弘(バブソナレッジ准教授) 慶応義塾大学法学部卒。カリフォルニア州クレアモントのビーター・ドラッカー経営大学院にて経営学修士課程修了(MBA)。テキサス州立大学ダラス校にて国際経営学博士号取得(PhD)。2009年度より現職。専門領域はアントレプレナーシップ。	11/21(土) 10時～17時	六本木 アカデミーヒルズ

定員: 40名

料金: 70,000円(講義4回+ワークショップ)

申込: ウェブマガジン「HIP」より(<http://hiptokyo.jp/>)

### ■HIP conference

NewsPicks×HIP「東京をイノベティブにする～7つの要素から考える～」シリーズ

第1回: 自動車×都市 ～都市における自動車・モビリティの可能性～

日時: 7月27日(月)14時～20時30分

セッションⅠ「日本に水素社会は本当に来るか」	14時～15時
セッションⅡ「IT企業が考える未来の自動車・モビリティ」	15時15分～16時15分
セッションⅢ「多様化するサービスの可能性」	16時30分～17時30分
ラップアップ(ゲストに小泉進次郎衆議院議員を招きます)	17時45分～18時30分
交流会	18時45分～20時30分

登壇者: 泉田良輔(GFリサーチ代表)、「Google vs トヨタ」著者、馬場渉(SAP チーフイノベーションオフィサー)、中嶋宏(DeNA 執行役員)、小泉進次郎(衆議院議員)、他

定員: 350名

料金: 6,000円(税込/セミナーのみ)、10,000円(税込/セミナー+交流会)

申込: ウェブマガジン「HIP」より(<http://hiptokyo.jp/>)

## 「HIP」企画者からのコメント



HIP オフィシャルアドバイザー

児玉 太郎(株式会社 Taro & Company 代表取締役)

あらゆる分野で活躍するスターたちが出会い、互いをリスペクトし、刺激しあうことで新たな化学反応を起きて、さらなる新産業の創造につながっていく。そんな世界中が注目するインキュベーションシティ「東京」の構築をサポートすべく『HIP (Hills Ignition Program)』プラットフォーム構想を温めてきました。大小問わず、様々なプロジェクトが交わり、共に学び、時には競い合う機会を創出することによって、新しい何かが生まれることを楽しみにしています。

1977年神奈川県横須賀市生まれ。1999年11月Yahoo! JAPAN入社。2010年1月日本で最初の社員としてFacebook入社、カンントリーグロースマネジャーに就任。それまで日本になかった、実名によるSNS文化の創造を牽引した。2014年6月に独立起業、Growth Advisorとして成長支援を手がける。



HIP school コーディネーター

山脇 秀樹(ドラスカースクール前学長)

グローバルな視点を持つ次世代のイノベーターを東京から。そんな想いを込めてHIP Schoolのプログラムは国際的に活躍する講師陣と本気のイノベーターのダイナミックな学習・討議・対話の場を目指します。

慶応義塾大学経済学部卒。同大学大学院経済学修士課程修了。ハーバード大学経済学博士号取得(PhD)。クレアモント大学群ピーター・ドラッカー経営大学院教授・伊藤チェアー基金教授。2006年度より同校副学長、2009-12年度に学長を務める。欧米のビジネススクールにおける初の日本人学長。



HIP conference モデレーター

佐々木 紀彦(株式会社ニューズピックス 取締役)

日本でもイノベーションという言葉が人気となり、スタートアップも増えてきました。しかし、そのスケールはまだ小さく、世の中の大きなウネリとはなっていません。では、どうすれば壁を突き破れるのでしょうか。そのカギは2つあります。「大企業と行政とスタートアップの融合」と「日本の都市のリノベーション」です。この2つの目的を実現する場として、HIPを全力で盛り上げていきたいと思えます。

1979年福岡県生まれ。慶應義塾大学総合政策学部卒業、スタンフォード大学大学院修士号取得(国際政治経済専攻)。東洋経済新報社入社、2012年11月「東洋経済オンライン」編集長に就任。リニューアルから4カ月で5301万ページビューを記録し、同サイトをビジネス誌系サイトNo.1に導く。